



Plan Do Check Action

大切にしてきたこと



朝日町保小中一貫教育校
朝日町立さみさと小学校
校長 大森 祐子

実感がわからないまま、役職定年という大きな節目を迎えようとしています。

これまでの教員生活を振り返ると、子供たちの声が響く教室の風景と、出会った子供たちの多くの笑顔が思い浮かびます。同時に、大きな後悔や数多くの失敗も思い起こされます。悩み、ぶつかり合い、自分に負けそうになったことも多々ありました。しかし、私を教師として粘り強く育ててくれたのは、それらの後悔や失敗、そして出会ってきた子供たち一人一人だったのだと、今改めて感じています。

教員生活の中で、特に大切にしてきたことがあります。「みんな大事。どんな子も大切に。絶対に捨てない」ということです。様々な背景をもつ子供たちが、「今日は楽しかった」「自分ってなかなかいいじゃない」と感じてほしい、どの子も幸せであってほしいと願い、子供たちに向き合ってきました。その中で確信を得たことがあります。それは、どの子供も大切にするという思いを最も具体的に体現し、子供に直接届けることができるのは、日々の授業であるということです。

授業は、単なる知識伝達の場ではありません。分からないと悩む子供に学びの楽しさをどう味わわせるのか、発言が少ない子供の声をどう拾い上げるか。一人一人の「分かった!」「できた!」「おもしろい!」という瞬間に立ち会い、知的な喜びで学級全体をつないでいく。その積み重ねこそが、子供たちにとっての安心感、充実感となり、どっしりとした学級経営の土台となりました。子供たちが目を輝かせ、身を乗り出して学ぶ姿を見られたとき、私自身もまた、何とも言えない「わくわく」で満たされました。授業という真剣勝負の場で子供たちと心が通い合う瞬間が、私を支え続けてくれたのです。めったに出会えないその瞬間をまた味わいたくて挑戦し続ける。だからこそ教師を続けてこられたのかもしれない。

後進の先生方に伝えたいことがあります。時代の変化は激しく、子供たちを取り巻く環境も変わりました。学校が抱える問題は多様で複雑になり、日々の業務に追われ、立ち止まりそうになることもあるでしょう。目の前の一人に悩み、失敗することもあるかもしれません。でも、どうか「授業の力」を信じてください。目の前の子供たちと一緒に学びを創る喜びを味わってください。先生方がわくわくして授業に向き合うとき、そこには必ず救われる子供がいるはずです。

最後に、これまで共に歩んでくださった先生方、助けていただいた地域の皆様、私を育ててくれたすべての子供たちに、心より感謝申し上げます。

朝日町教育委員会派遣 内地留学

「 内地留学を終えて 」

朝日中学校 教諭 吉田 亜沙奈

昨年度より、ICTや生成AIを取り入れた授業に挑戦したり、授業デザインを改めて見直したりしてきましたが、私にとっては未知のことばかりで、反省する毎日でした。これまでの授業を見直しながら、生徒にどのような力を身に付けさせたいのか、また生徒が主体的に「やってみたい」と思うような授業にするためにはどのような手立てがあるのかということについて勤務校の先生方と模索していました。

内地留学では富山大学 岡崎浩幸 教授のご指導の下、富山県内外の小学校、中学校、高等学校、高等専門学校を合わせて23校へ伺い、たくさんの外国語科の授業を参観させていただきました。授業を参観したり、研修会で意見交換をしたりする中で、これまでの自分自身の固定概念や授業デザインの見直しの必要性を実感する場面が多くありました。そのうちの一つの授業が「communicative approachを効果的に使用していた授業」です。その授業は、口頭での指示、ALTとのデモンストレーションによる視覚を通しての指示、電子黒板で各トピックの画像を表示することによるイメージ喚起等により、文字なしで進行していました。仮定法は、生徒にとって過去形にすることを見落としやすく、間違いが多い単元ですが、小さな間違いを気にせず、「まずは使ってみる」ということに重きを置いて、言語活動の時間を多く設定していました。生徒は時々間違えながらも、ワクワクするトピックについて、楽しそうに自分の言いたいことを伝え合っていました。「〇〇ってなんて言うんだっけ…」という生徒のつぶやきを、各ペアトークが終わった際に、教師が全体にフィードバックしていたこともあり、生徒は日本語での文法的な説明をほとんど受けずに、言語活動の中で自然に学んでいました。この授業デザインは、「新しい文法を説明してから、正しく使えるように練習し、言語活動に取り組む」というこれまで自分の中にあったイメージを払拭してくれました。

内地留学で得た多くの知見を生かし、生徒が主体的に「やってみたい」と思うような授業にするために、これからも研修を続けていきたいと思えます。



令和のとやま型教育推進事業 朝日町の取組報告

朝日町では、町内小中学校で「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けた授業改善 ～子供一人一人が主語となる授業づくりを目指して～」をテーマに研修を行いました。年度途中で実施したアンケートでは、多くの先生方が、「子供が主体となる学びを意識した授業づくりに取り組んでいる」と回答されました。提案授業や講師の先生の助言等から、自分の授業でも取り入れたり得た知見を教材研究に生かしたりしながら日々の授業づくりをされていると思います。

去る3月6日(金)に授業改善調査員会を行い、各校の取組や成果と課題について共有しました。DX戦略アドバイザーの先生の伴奏支援もあり、どの学校も充実した研修となったようです。

成果

- ・個々の考えや振り返りの内容等をクラウド上で共有し、自由に見合うことができる学習環境を整えることで、子供たちの学び方の幅が広がり、自己調整しながら学ぶことができるようになった。
- ・悉皆研修とすることで、一人一人のペースに寄り添い、個々の変容や成長の過程を見取る重要性等の共通理解が図られた。さらに、教員同士が教科や学年の枠を超えて教材研究をしたり授業展開について考えたりするなどの校内研修の充実にもつながった。

課題

- ・課題解決に向けてのデジタル学習基盤の活用や学習形態の工夫により、個別最適な学びに向かう子供の姿が見られる一方で、協働的な学びにつながる場づくりや子供への意識付けが困難である。一人ではどうしても解決できない状況を意図的に取り入れ、他者と話し合う場の設定等の工夫が必要である。
- ・単元の目標、身に付けたい力を明確にし、単元全体で授業を構想することが大切である。その過程で、個人の知識のつながりや他者とのつながりを意識しながら授業改善に取り組み、実践を重ねていく必要がある。

教育センターの備品や教材について

朝日町教育センター備品 「かるかるジョイントマット」

1組（90cm×90cm 4枚入り）で、合計 10 組
あります。
学習活動や学校行事等でご活用ください。

収納バッグ付

表



裏



朝日町教育センター教材 「プレストカード」

カードに描かれた絵をもとに、友達のよさを伝え合うなど、互いを認め合う集団づくりや学活の授業等で活用することができます。



☆その他、SSTボードゲーム等もあります。ぜひ、お気軽にセンターまでご連絡ください。

令和7年度 新規購入図書を紹介

あつという間に、令和7年度も残りわずかとなりました。先生方におかれましては、今年度はどのような一年だったでしょうか。年度末に向けて、これまで以上に目の前の仕事に追われる毎日かとは思いますが、少しでも時間を見つけて読書をしてみませんか。一冊の本との出会いが、これまでの実践を振り返るヒントになったり、来年度に向けた新しいアイデアの種になったりすることもあります。

教育センターでは今年度、新たに31冊の本を揃えました。また、「生徒指導」や「特別支援教育研究」等の月刊誌を購入しています。忙しいときだからこそ、読書でほっと一息。皆さんの「こんな本が読みたい」というリクエストも大歓迎です。ぜひ、教育センターにお立ち寄りください。



一年間、ありがとうございました！

令和7年度朝日町小中学校研修会 委員・調査員のみなさん

| | |
|---|---|
| <p>◇朝日町教育センター運営委員</p> <p>小中学校長会 代表 大森 祐子</p> <p>小学校 代表 米田 歩</p> <p>中学校 代表 川田 彰</p> <p>教頭会 代表 上田 勝</p> <p>教務主任会 代表 鍋島 朋子</p> | <p>◇郷土教育教材開発研究調査員</p> <p>さみさと小学校 横山亜希子 (委員長)</p> <p>あさひ野小学校 七澤 都</p> <p>さみさと小学校 鍋島三彩子 屋木 湧基</p> <p>朝日中学校 岡崎翔太郎</p> <p>コーディネーター 水野瑠美子</p> |
| <p>◇情報教育研究調査員</p> <p>朝日中学校 上田 勝 (委員長)</p> <p>あさひ野小学校 沼田 峻 平澤 颯汰</p> <p>さみさと小学校 秋元 慧 稲毛 渚</p> <p>朝日中学校 岩崎 将展 小坂 健太</p> | <p>◇朝日町小中学校児童生徒作品展実行委員</p> <p>さみさと小学校 大森 祐子 (委員長)</p> <p>あさひ野小学校 深松 大</p> <p>さみさと小学校 中嶋 亮太</p> <p>朝日中学校 岩田 寿浩 太田 幹人</p> |
| <p>◇授業改善調査員</p> <p>あさひ野小学校 坂口 薫 (委員長)</p> <p>あさひ野小学校 松井和貴子</p> <p>さみさと小学校 高澤 伸治</p> <p>朝日中学校 木村 有希</p> | <p>発行：朝日町教育センター</p> <p>〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下 1133</p> <p>TEL・FAX 0765(83)0279</p> <p>E-mail asahi-ec@asahischool.jp</p> <p>https://center.asahischool.jp/</p> |